

## A RUNABOUT STK KAWASAKI

P.1 ARSK1-1 エンジン本体系統 / ARSK1-2 吸気系統 / ARSK1-3 排気系統 / ARSK1-4 冷却及び排水系統

P.2 ARSK1-5 電気系統 / ARSK1-6 艇体系統

P.3 ARSK1-7 ハンドル系統 / ARSK1-8 ポンプ・ドライブ系統

P.4 ARSK1-9 クラス特例 / ARSK1-10 一般補修部品 / ARSK 1-11 燃料系統

## ARSK 1-1 エンジン本体系統

ARSK1-1-1 エンジン本体は、改造してはならない。

ARSK1-1-2 カムシャフトのタイミングは変更してよい。

ただし、当該機種純正品とし、カムシャフト本体の加工をしてはならない。

ARSK1-1-3 バルブスプリングとバルブスプリングリテーナーは社外品を使用してよい。

## ARSK 1-2 吸気系統

① 改造してもよい。ただし純正同等のフレームアレスターを装備すること。

② ブローバイホースを取り付けるにあたり、パイプ・フィッティング等の改造をしてもよい。

ただし、脱落やホースの抜けのないようにする事。

③ ブローバイガスのホースは必ずインテーク側にもどすか閉じる事。大気開放及び船内に垂れ流しは禁止。

社外品ホースを使用する場合は耐熱、耐油性のあるものを使用する事。

④ ブローオフバルブの出口には、フレームアレスターを取り付けなければならない。

⑤ ブローバイの出口は、インテーク側（フレームアレスターよりエンジン側）にもどすこと。

⑥ その他、OEM でインテーク側に取付けられている、ホース類は、インテーク側に取付けること。

ARSK1-2-2 インテークサイレンサーは、取り外してよい。ただし、純正品フレームアレスターの場合、天板（吸入通路の角度を変更するもの）は、残さなければならない。

ARSK1-2-3 スロットルボディは純正品とし、改造、加工してはならない。

ARSK1-2-4 フューエルプレッシャーレギュレーターは社外品、または改造してもよい。

ARSK1-2-5 フューエルポンプは改造、加工してはならない。

## ARSK 1-3 排気系統

ARSK1-3-1 排気出口カバーは、取り付けなければならない。但しフラップ使用時に干渉する場合に限り取り外すことができる。

ARSK1-3-2 エキゾーストシステムは、純正品でなければならない。ただし排気温度センサーは、取外し、または機能を停止してよい。

ARSK1-3-3 エキゾーストホースの内径を縮める為にインサートを加えてもよい。

ARSK1-3-4 以前に穴あけやタッピングされたエキゾーストマニホールドは穴埋めや閉栓をする事により使用してよい。

ARSK1-3-5 フィルターマフラーコンプは取り外してもよい。

ARSK1-3-6 ウォーターボックス

一切の加工を禁止する。修理は行っても良い（但し事前に届出をし単体にてインスペクションが必要）

## ARSK 1-4 冷却及び排水系統

ARSK1-4-1 冷却ライン

全て純正品、純正レイアウトのままとし、一切の改造をしてはならない。

ARSK1-4-2 水洗キット、ビルジドレンシステムは改造してもよい。

注) ただしエンジンルーム内に油分の漏れ等の可能性のある艇については、電動ビルジポンプや負圧式ドレン(例 ダックビル)は使用をしてはならない。水面への油漏れはペナルティーの対象となり得る。

電動ビルジポンプを取り付けてもよい。ドレンコックは位置を移動してもよい。

冷却作業中に、水の流れを変更する為の手動式制御装置は取り付けてはならない。

ARSK1-4-3 バイパスフィッティング

① 純正品を使用し、改造、加工してはならない。

② 排水出口は、他ライダーに危険の生じる事の無いように、下方・後方に向けなくてはならない。

ARSK1-4-4 その他、加工、交換、改造はしてはならない。(一般補修部品は除く)

## ARSK 1-5 電気系統

ARSK1-5-1 電源スイッチ

追加してもよい。

ARSK1-5-2 イグニッションシステム

① コントロールユニット (ECU) は純正 ECU を使用し書き換えのみの加工をしてもよい。

② 点火タイミング変更用の手動式スイッチを追加してもよい。

③ パルシングローター、パルシングカバーは改造してもよい。

④ 純正コネクタに接続できるものであればリミッターを解除するものをつけてよい。

ARSK1-5-3 スタート・ストップスイッチアッセンブリー

改造してもよい。

ARSK1-5-4 アース線

追加してもよい。

ARSK1-5-5 追加センサーは認めない。エンジン温度センサーは作動しなくても良い。

ARSK1-5-6 その他加工、交換、改造は禁止する。(一般補修部品は除く)

ARSK1-5-7 バッテリー

バッテリー及びバッテリーボックスは社外品を使用してもよい。

バッテリーについて、現在(2022年1月)JCIでは水上オートバイにリチウムイオンバッテリーの使用は禁じられている為、その使用は不可とする。

今後、JCIから認可の出るものがあつた場合は搭載を許可する。

バッテリーボックスは改造追加及び、移動しても良い。但し、バッテリーがフィットし安全に固定されていること。

## ARSK 1-6 艇体系統

ARSK1-6-1 デッキ及びハッチ、カウリング等。

純正品を使用しなければならない。修理は標準形状より2mm以上変更してはならない。

内側は自由に補強しても良い。(軽量化の為の切削加工・形状変更は禁止)

内側の面に部品を固定するための締め具は、貫通して取り付けでも良い。

但し、外側に2mm以上突出してはならない。

社外品の電気系スイッチや、メーター類を取り付けても良い。

ARSK1-6-2 ハル(バンパーより下部の船体)

表面(外側)は修理しても良いが、純正形状より2mm以上変形してはならない。

ARSK1-6-3 スポンソン

片側最大1セットのスポンソンを装備できます。

※スポンソンのベース本体にフィンがついているものは不可。

- ① スポンソンは、変更、アフターマーケット、再配置、または削除されてもよい。
- ② スポンソンの本体の厚さは **6mm** 以上、すべての前縁は、危険を引き起こさないように丸みを帯びている必要があります。
- ③ ボンドフランジより、外側にスポンソンを取り付けは不可。
- ④ フィン、ラダー、ウィングなど危険を引き起こす可能性のある付属物は不可。
- ⑤ フィン本体には、金属の使用は可。ただし危険が及ぼさないような形状であること。
- ⑥ スポンソンの全長は、**910mm** を超えてはならない。スポンソンは、船体の側面から **100mm** を超えて突出してはならない。
- ⑦ スポンソン（フィンの部分）は、ベースより、下側に **63.5mm** 以下。
- ⑧ スポンソンは、船体の側面が底部と交差する点より下に伸びてはならない。
- ⑨ ボンドフランジの内側にスポンソンを取り付けることはできますが、スポンソンはボンドフランジ（バンパーを取り外した）より、はみ出してはならない。

#### ARSK1-6-4 トリムタブ／フラップ

- ① 純正のトリムタブは、取り外してもよい（低速時スロットル方向舵連動 システムを含む）。
- ② ハルのトランサムに取り付けてよい。但しトリムタブ下面とハルの滑走面とは平滑でなければならない。
- ③ ハルの滑走面の横巾を超えてはならない。
- ④ ボンドフランジより後方にはみ出してはならない。※バンパーを取外し下振りで測定する
- ⑤ 後端の厚み、外側の側面及び後端は、8mm 以上の厚みがなければならない。その他の角は、面取り（1c 以上）しなければならない。
- ⑥ 外側端の角は、5R 以上の丸みがなければならない。
- ⑦ 危険のない範囲で、可動式でよい。
- ⑧ その他の付加物は、取り付けてはならない。
- ⑨ 可動フラップ等のリンク装置は、ボンドフランジ内に収めなければならない。
- ⑩ トリムタブは同一形状の社外品を使用してよい。素材は変更してよい。

ARSK1-6-5 危険を生じるフィン、ラダー、他の付加物は、取り付けてはならない。

ARSK1-6-6 燃料タンク台の発泡体は、容積 20%までカットしてもよい。但し代わりの浮体を船内に取り付けなければならない。

ARSK1-6-7 フード内吸気チューブは、一部カットしてもよい。

ARSK1-6-8 改造または部品の取り外しにより、エンジンルームの通気口となる孔は、塞がなければならない。

### ARSK 1-7 ハンドル系統

ARSK1-7-1 ハンドルシャフトの取り付け角度を変更してよい。

- ① この改造のための、ステアリングシャフト、ステアリングシャフトホルダー、ハンドルホルダーは、社外品を使用してよい。
- ② この改造に付随する船体デッキ、カバーの改造は、純正品形状に沿った物で十分な強度を保つものでなければならない。

ARSK1-7-2 クイックターンステアリングにしてよい。

ARSK1-7-3 ハンドルダンパーは、取り付けてはならない。

### ARSK 1-8 ポンプ・ドライブ系統

ARSK1-8-1 ポンプ

- ① ポンプノズル及びステアリングノズルは、改造または、社外品を使用してよい。  
ノズルトリムシステムは、改造または、社外品を使用してよい。

② ポンプケースアッセンブリーからステアリングノズルまでの全長は、純正品より 50mm 以上長くしてはならない。

ARSK1-8-2 インペラーは、社外品に交換してよい。ポンプキャップは、改造または、社外品を使用してよい。但し純正品に類似した形状であること。

ARSK1-8-3 上記以外の、ポンプは改造してはならない。

純正ベーンガイドの修理（溶接、切削）はしてはならない。

ARSK1-8-4 ベーンガイドのボスの径を変更する部品を加工無しにボルトオンでの取り付けはしてもよい。

## ARSK 1-9 クラス特例

ARSK1-9-1 シートアッセンブリー (RUNABOUT)

シートカバー、シートパッドは、社外品と交換してよい。但しシートベースは、純正品を使用しなければならない。シートの高さは、変更してよい。

緩衝材は追加または削除できます。純正シートの高さから最大 10%変更可。

背もたれの高さは、ライダーが着席したときの 18cm 未満。

膝上部をホールドする為のパッドは落水時でも安全にホールドアウトできる形状である事。

シートと一体化で全体が緩衝材で覆われている事。

## ARSK 1-10 一般補修部品

ARSK1-10-1 一般補修部品（スパークプラグ、ハイテンションコード、スパークプラグキャップ、配線、ウォーターホース（純正品と同一内径のもの）、クランプ、及びファスナー等）は、社外品と交換してよい。

ARSK1-10-2 無くなったネジ山は、元のサイズに修理してよい。

## ARSK 1-11 燃料系統

ARSK1-11-1 燃料システム

- ・閉鎖システムとし、常にどの様な角度でも外に漏出さないこと。
- ・燃料供給量を調整するための改造をしても良い。
- ・圧力のかかる燃料ラインを改造する場合、圧力が上昇しても抜けない構造とすること。ホースを差し込んだ状態で結束バンドのみで締め付ける方法はこれを禁止する。

燃料ポンプは改造してはいけない。

ARSK1-11-2 リリーフバルブ（チェックバルブ）

メーカー純正品を追加しても良いが、配管レイアウトは純正同様とする。

ARSK1-11-3 タンクキャップ

社外品と交換しても良い。

ARSK1-11-4 フューエルインジェクター

改造してはならない。

ARSK1-11-5 燃料ホース

メーカー純正品。

メーカー純正品と同等以上の耐油性、耐熱性、耐圧性のあるガソリン用ホース。

（場合により品質の証明ができる書類等の提示を求める）

ARSK1-11-6 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。